

クローズアップ



# 大分県立美術館 (Oita Prefectural Art Museum)

江 藤 佑 輔

(Yusuke Etoh)

三菱電機ビルテクノサービス株式会社  
九州支社

中 井 龍 二

(Ryuji Nakai)

三菱電機株式会社  
九州支社

建 物 外 観

## 1. はじめに

大分市の中心に大分のユニークな文化風土にちなんだ「出会いと五感のミュージアム」として大分県立美術館が2015年4月にオープンしました。

シンプルな箱型の建物をガラスで覆い、3階外壁や美術館に隣接するペDESTリアンデッキには、大分の伝統的な竹工芸をイメージさせる印象的なデザインを採用。自由にくつろげる広いアトリウムに加え、カフェ、情報コーナー、ミュージアムショップなどを設置し、気軽に立ち寄れる空間を提供しています。1階展示室の壁は自由に動かすことができ、小規模な展示から、周囲の広いアトリウム全体を使った展示まで多様な展示が可能です。

また、太陽光発電などの自然エネルギーの活用、免震構造の採用、発電機室などの災害時における電源機能の装備など、地球環境に配慮し、かつ、高い防災性能を備えています。

## 2. 建物概要

所 在 地：大分県大分市寿町2番1号

建 築 主：大分県

設計・監理：株式会社 坂茂建築設計

施 工：鹿島・梅林特定建設共同企業体

建 物 用 途：美術館

敷 地 面 積：12,064㎡

建 築 面 積：4,628㎡

延 床 面 積：17,084㎡

構 造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造

階 床 数：地下1階、地上4階

建屋高，軒高：24.792m

工 期：2013年4月～2014年10月

竣 工 日：2014年10月31日

## 3. 昇降機設備

美術館内の昇降機設備は、エレベーター3台（乗用1台、乗用兼非常用1台、荷物用1台）、エスカレーター4台が設置されています。乗用エレベーターは、オープン展望エレベーターで、かご室は、床面以外はほぼ全面ガラスで構成しています。乗場機器や昇降路内機器も見栄えを考慮し、解放感のあるアトリウム空間にマッチしたシンプルなデザインとなっています。

美術館に隣接されたペDESTリアンデッキのらせん階段内にも乗用エレベーター1台が設置されています。二方向出入り口の展望用エレベーターで、円形状の昇降路壁もガラスを使用しています。かご室は、美術館内のオープン展望エレベーターと違い、天井はガラスクロス光天井であり、扉は窓の無い仕様ですが、全体的に統一感のある意匠となっています。乗場は防滴タイプのボタンを採用しています。

クローズアップ



EV-1 昇降路外観



EV-1 かご外観



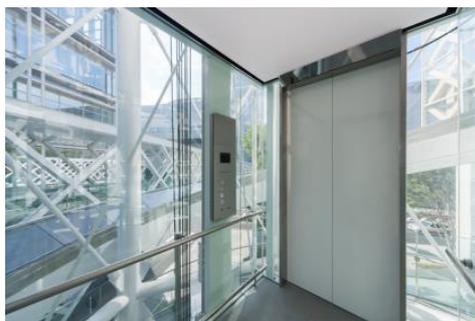
EV-1 かご内



EV-1 2階乗場



EV-4 乗場



EV-4 かご内



EV-4 昇降路外観

エレベーター仕様 (計4台)

棟	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
美術館	EV-1	乗用	乗合全自動方式	インバーター	1000	15	60	1	3 (1~3)	三菱	展望用、車いす仕様
	EV-2	"	"	"	1150	17	60	1	5 (B1, 1, M2, 2, 3)		兼非常用、車いす仕様
	EV-3	荷物用	単式自動運転方式	"	3100	-	45	1	3 (1~3)	守谷輸送機	
ペDESTリアンデッキ	EV-4	乗用	乗合全自動方式	"	1150	17	60	1	3 (正面: B1, 1 背面: 2)	三菱	展望用、二方向出入口、車いす仕様

エスカレーター仕様 (計4台)

棟	号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
美術館	ESC1, 2	S600 形	透明ガラス	30	1-2	7000	2	東芝	低速待機自動運転
	ESC3, 4	S600 形	"	30	2-3	5500	2		"